

## 抑うつを伝染しやすい者の特徴について

### —抑うつ伝染尺度の作成と対人依存・感情制御との関連の検討—

HP25-0077G 岡本亮平

#### 問題と目的

人の感情は日々変化し、喜びや落ち込みなどがあります。人の感情の変化の原因の 1 つとして、感情の伝染が挙げられます。感情の伝染とは、他者の感情を知覚することで、自分自身も同様の感情を経験することです。今まで感情の伝染に関する研究は、喜び・怒り・悲しみ・恐怖などが行われていました。しかし、気分の落ち込みの伝染を測定する研究は行われていません。そのため、本研究では抑うつを気分の落ち込みと定義し、抑うつ感情の伝染を測定する尺度を作成しました。それに加えて、抑うつ伝染がどのような要因と関連があるのかを調べることを目的としました。

#### 研究 1

研究 1 では抑うつを気分の落ち込みと定義し、抑うつ感情の伝染を測定する尺度を作成し、抑うつ伝染尺度の質問項目が気分の落ち込みの伝染を測定するのに適しているかを調べました(信頼性と妥当性の検討)。

#### 方法

調査の対象となったのは、大学生 112 名でした。質問紙の構成は、抑うつ伝染の測定に作成した抑うつ伝染尺度、感情伝染の測定に木村・余語・大坊(2007)の日本語版情動伝染尺度、共感性の測定に桜井(1988)の対人的反応性指標 (Interpersonal Reactivity Index; IRI)の日本語版(多次元共感測定尺度)を使用しました。

#### 結果

分析の結果、抑うつ伝染尺度は 1 因子構造になり、信頼性も得ることができました。また、抑うつ伝染と感情伝染及び共感性の間に強い正の相関が認められ、構成概念妥当性も認められました。

#### 研究 2

研究 2 では、研究 1 で作成した抑うつ伝染尺度を用いて、抑うつ伝染と対人依存及び感情制御の再評価方略と抑制方略の 2 つの方略との関連について調べました。

#### 方法

調査の対象となったのは、大学生 126 名でした。質問紙の構成は、作成した抑うつ伝染尺度、対人依存の測定に竹澤・小玉(2004)の対人依存欲求尺度、感情制御の測定に吉津・関口・雨宮(2013)の感情調節尺度(Emotion Regulation Questionnaire)日本語版を使用しました。

#### 結果と考察

相関分析の結果、抑うつ伝染と対人依存の間には中程度の正の相関が認められました。一方で、抑うつ伝染と再評価方略および抑制方略の間には関連がみられませんでした。このことから、抑うつ伝染と感情制御に関連は見られませんでした。抑うつ伝染と対人依存に正の関連があることが明らかになりました。